



工事の様子。道路側より進行。本堂は通常どおり開放しております。

ながらく延期しておりました、常高寺の庫裏（くり）・門徒会館の建設。本年、令和3年の5月25日から工事が始まりまして、お寺に来てまだまだ日の浅い私でも感慨深いものが。。。日頃より常高寺に慣れ親しんできたご門徒の皆さまにとってはなおさらかと。

工事はじまる！

常高寺庫裏（くり）・門徒会館

常高寺だより

あまね



発行年月日
2021年6月20日
発行所 常高寺
今港市風平町4-1-13
TEL 0898-22-2264

常高寺ホームページ



「天祥山常高寺」で検索ください。上記のQRコードからも入れます。

◆解体工事（予定）
令和3年5月25日～7月末
◆新築工事（予定）
令和3年8月～令和4年夏頃

変化に戸惑われることもあるかと思いますが、皆さまにとってよりいっそうお参りしやすい環境を目指し、工事を進めていきたいと思ひます。ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



常高寺公式キャラクター紹介

- 名前 前象 (かとうさくぞう)
- 誕生 11月18日
- 出身地 常高寺
- 趣味 寝る (く)
- 好きな食べ物 餃子 (やま)
- 特技 寝る (く)
- 好きな飲み物 ジャー(ス)
- 好きな言葉 (ス)
- 好きな言葉 (ス)



目次

- 2頁 常高寺ニュース①
- 3頁 常高寺ニュース②
- 4頁 仏教学基本講座①
- 5頁 仏教学基本講座②
- 6頁 質問コーナー
- 7頁 行事報告&投稿コーナー
- 8頁 おしらせ



漫画ブツダから親鸞へ
継職法要の際、編纂しお配りした、前住職 加藤泰憲の仏教漫画集、電子書籍にて好評発売中です。

「響流書房 加藤泰憲」で検索！

今月の掲示板のことば

「つながりの中にある私の人生」

今号から紙面サイズが大きくなり見やすくなつたゾウ！



おてらPV完成！

様々なご縁に恵まれて、この度、常高寺の公式プロモーションビデオ、『おてらPV』が完成しました。作中の絵はなんと、、、全て砂で描かれています！

サウンドアートパフォーマーの田村祐子さん、挿入曲「風の願い」は音楽家の阿部里美さんに作成していただきました。お二方とも、過去にお寺の行事で協力して下さったご縁もあり、依頼させていただきました。

砂絵ならではのあたたかで優しい雰囲気、透明感がありどこか郷愁を感じる曲。素晴らしいお寺の紹介動画が出来たように思います。映像を通して、お寺や仏教を身近に感じてほしいなあ。。。

若い世代の方の寺離れが進む昨今、「世代間で共有できるお寺のコンテンツを作ろう」ということを、密かに目標にしています。「常高寺がこんなことしてるよ」と、ご家族でお寺の事や仏教のことを話すきっかけになれば、とても嬉しいです。

お寺は「わたしが集える場所」「わたしが仏様のおしえに出会える場所」「わたしへと繋がる場所」

ぜひお気軽にお参りください。

「おてらPV」はホームページトップよりご覧いただけます。



→風船なので軽々



↓取材用に作ったバルーン作品。お釈迦さまの誕生日を祝う花祭りをイメージ。



お寺の活動にもつながったらいいなと、ささやかに続けていることのひとつ。バルーンアート。今年の5月28日付の読売新聞の地域面(愛媛)にて、取り上げていただきました。お寺のホームページを見て興味を持っていただけたとのこと。記事には常高寺のこと、前住職の仏教漫画作品のことなども掲載されています。記事を見た人が、ほんの少しでもお寺に興味をもつていただけたらいいなあと 생각합니다。

掲載記事は常高寺の本堂にも掲示してありますし、ネットでも「風船でふくらむ法話」と検索していただければ、読売新聞オンラインの記事からも確認できます。よければご覧ください。

記者さんがドラマチックに書いてくださいます。

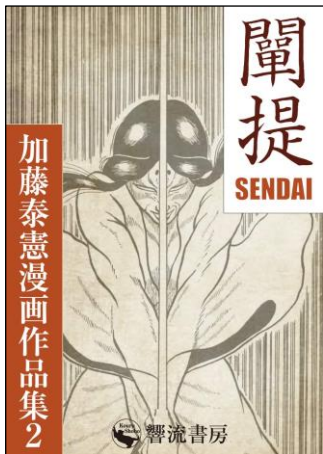
読売新聞に記事掲載！

先代住職漫画作品集 第二弾！

先代住職の遺稿仏教漫画集第二弾です。今年の5月に響流書房から電子書籍として発刊されました。1987年にコミックモーニングに掲載された『闡提(せんだい)』をはじめ、未発表のものを含めたいくつかの作品がまとめられています。

一昨年、電子書籍で出版した『漫画ブツダから親鸞へ』を読まれた方から「学生時代に感銘を受けたあの作品(闡提)をまた読みたい」との希望があり、出版へと到った本作品。30年以上前に出た読切の作品を憶えていて、また読みたいと言ってくださる。本当にすごいことだなと思います。少し過激な描写もありますが、とてもメッセージ性の強い作品だと思います。

アマゾン公式サイト、或いは常高寺ホームページの「前住職漫画作品集」のコーナーよりお求めできます。よければぜひ。



加藤泰憲漫画作品集2

↑漫画の表紙。大迫力。

新キャラクター&ラインスタンプ

常高寺のマスコットキャラクターに、新たに「きくひと君」を加えました。「きくぞう君」共々よろしくお願ひいたします。それに伴いホームページ上のコンテンツ名も「きくぞう君紹介」から「キャラクター紹介」へと変更させていただきました。「きくひと君」はLINEスタンプとしても利用可能です。本当は無料でお使ひいただきたいのですが、契約の関係上無理でした(ˉˉ;)。120円となります(製作者への分配額は0円の契約ですので、常高寺の収入とはなりません)。

中々かわいく出来たと身内で自賛しています。ホームページの「キャラクター紹介」のコーナーからお求めできます。仏教系のスタンプは数も少ないので、興味があればぜひ。

ささやかでも、お寺と皆さまを繋げる一助になればと思います。お子さん、お孫さんと、ご家族でお寺のことを話す、一つのきっかけになれば良いなど。。。

←一部抜粋。40種類のイラストスタンプです。



Jokeji >
聞人(きくひと)くん
スタンプ
有効期間 - 期限なし

50
保有コイン: 20

プレゼントする ダウンロード済み

大好きなお寺を守るため奮闘する少年「きくひと君」。今治市のお寺発。仏教用語を少し交えたオリジナルスタンプです。

スタンプをタップするとプレビューが表示されます。

常高寺にバリィさんが！？

常高寺にバリィさんが来てくれました！今治企業情報サイト「ハタラク」の「バリィさんの今治探訪」という企画の一環のようです。今治城と寺町の関係性や成り立ちを、とても分かりやすく纏めてくださっています。バルーン住職のことにも少し触れていただきました。「バリィさんの今治探訪 城下町」で記事は検索できます。→手に持っているのはバルーンで作ったバリィさん。



仏教学
講座

住職さんに聞くゾウ! (第三話)

「仏に成るってなんだろう? (後編)」

※前の話は、前号までの『あまね』かホームページで確認出来ませう。

●前話のあらすじ

・「仏(ブツダ)」とは、「(仏法の真理に) 目覚めた者」という意味。「死んだ人」ではない。
 ・仏教の説く世界観↓この世は苦しみの連続。生まれ変わりに変わりを繰り返して絶え間ない(輪廻)。
 ・仏に成った者は、苦しみから解放される(輪廻の輪からも解放される)解脱。
 ・あらゆる望みが叶う状況(例:天界)でさえ抜け出すべき迷いの世界。仏教の目指す境地、仏とは何か。↑今回はここ!



「わけがわからないゾウ。天界はきつと色んな美味しいものが食べれて、キレイな服が着れて、立派なお家に住めるんだよね??」



「そうかもしれないね。」



「地獄や餓鬼や畜生の世界は分かるけど。欲しいものがなんでも手に入る天界みたいな世界が、なんで苦しみの世界なんだゾウ??」



「うんうん、そう思うよね。一緒に考えてみよう。ちよつと聞くけど、例えばどんな時に、きくぞう君は苦しい、つらいって思うかな?」



「うーん? 風邪の時はずっともつらいかな。頭は痛くなるし、鼻は詰まって息はしづらいし。。。」



「あー、風邪はつらいよね。。他には?」

人物紹介



常楽寺の新住職。最近髪が伸びるのが早い気がする。



きくぞう君。常楽寺の公式キャラクター。実は飛べる(耳力で)。



「お爺ちゃんのことなんだけど、年を取ってから膝や腰が痛くなってつらかったって言ってたゾウ。」



「うんうん。ご門徒さんからもよく聞くよ。座るのも大変そうなんだよね。」



「そのお爺ちゃんが亡くなった時も、とっても悲しかったゾウ。それに、いつかボクも死ぬのになって怖くなったゾウ。」



「親しい人が亡くなった時のつらさは本当に言いようがないよね。『死』への恐怖も。お釈迦さまは、この世には八つの代表的な苦しみがあると説かれているんだ。『四苦八苦(しくはつく)』と言うんだけどね。」

【四苦八苦】

- ①生苦(しょうく)・・・生まれることにより生じる苦しみ
- ②老苦(ろうく)・・・老いることにより生じる苦しみ
- ③病苦(びょうく)・・・病により生じる苦しみ
- ④死苦(しく)・・・死の苦しみ、死を認識することにより生じる苦しみ
- ⑤愛別離苦(あいべつりく)・・・愛するものと別れる苦しみ
- ⑥怨憎会苦(おんぞうえく)・・・怨み憎むものに会う苦しみ
- ⑦求不得苦(ぐふとつく)・・・求めるものが得られない苦しみ
- ⑧五蘊盛苦(ごうんじょうく)・・・心身が思うようにならない苦しみ



「仏教は、そういったあらゆる『苦しみ』の原因は、人の持つ『煩惱(ぼんのう)』にあると説くんだ。」



「ボンノウ?」



「煩わせ(わざらわせ)、悩ませると書いて『煩惱』。執着(しやく)と言ひ換えてもいいね。人は物事に執着し、それが思う様にならないことから苦悩する。」

《様々な執着》

若いままでもいい健康なままでもいいずっと生きていたい永遠に私のもの

私が絶対正しい、彼、彼女は間違っている私の方が優れている、彼、彼女は劣っている



「『我執(がしゅう)』や『我所執(がしよしゅう)』とも呼ばれるけどね。人はあらゆることにつけて『われ』『わがもの』と、『変わらない自分』や、『他者より優れた自分』、『正しい自分』を期待し行動するけど、それが叶わない事から苦しむと説かれるんだ。しかもそれは繰返しつつく。『惑(わく)・業(ごう)・苦(く)』の『三道』と言ってるね。『惑』つまり『煩惱』により、好ましくない『業』(思いと行い)が生じ、それから『苦』の生活が生まれる。しかも、その『苦』により新たな『惑い』や『業』が呼び込まれる。負のスパイラル(悪循環)だね。」



「苦しみのドツポにはまるんだね。おそろしや、苦のスパイラル。。。」



「そうだね。それは天界も例外じゃなく、確かに寿命も長いし、若いうちは快樂も限らないのだけれど、やがて年老い、衰えが出てくる。そうすると、とても恵まれた環境であるからこそ、その自分に執着し、それが失われた時の苦しみは大きくなる。その苦しみは、ときに地獄にも勝ると説かれるんだ。」



「望むものが手に入る環境でも、苦しみが生まれるんだねじゃあ、どうしたら苦しみは無くなるんだゾウ??？」



「そこでお釈迦さまは、そもその苦しみの原因である『煩惱(執着)』を断ち切る必要があると説かれるんだ。このことを『涅槃(ねはん)』と言うんだよ。」



「ネハン??？」



「『(煩惱の火を) 吹き消す事』を意味する、インドの言葉『ニルヴァーナ』に漢字を当てたものだよ。よく『仏の心静かな状態』を表わす言葉として、お経に出てくるんだこの『煩惱』を離れた『仏』の境地、『涅槃(ねはん)』に至るために、『法』に目覚めなさいと、仏教は説くんだよ。」



「ぞぞう。。。。ちよつとまつて！整理するゾウ。。。。ぼくらは迷いの世界に生きていて、地獄みたいな場所だけでなく、例えば天界みたいな場所においても、『煩惱(ぼんのう)』があるからこの自分がずっと続いてほしい』と執着して、でもそれが思うようにならないから、苦しむんだよね？だから苦しみの原因である、この『煩惱』を離れなさいとお釈迦さまは言うんだ。そのために、『法』に目覚める必要があるってことで。。。。」



「そうか！それが『(法に) 目覚めた者』であるブツダ。仏教の目指す『仏』なんだゾウ!!」



「ファイナルアンサー!!」



「.....」



「.....これで合ってる??」



「うん、そうだと思うよ。」



「ふー、よかつたゾウ。。。。なんだか、いっぺんに色々考えすぎて.....頭が疲れたゾウ.....『法』のことが、とっても気になるんだけど.....」



「そうだね。『法』あってこそその『仏』。『仏』の事を説明するには、『法』は絶対欠かせない部分だけど、今回はたくさんお話したから疲れたよね。少しお休みして、また次回仏教の根幹となるこの『法』について、一緒に考えよう。」

次回 第四話「法ってなんだろう？」に続く.....予定



寺
Q&A

よくある質問コーナー

※このコーナーでは常高寺によく問い合わせのある質問にお答えしています。

質問①

「ご法座は何をしているのですか？」

答え

「法事や葬儀は分かるけど、ご法座（法要）って何しているの？」と聞かれることがあります。興味はあっても、よく分からないので参加しづらいという方もおられるのでは。

「ご法要の大まかな流れとしては、皆で始めにお勤め（正信偈など）をし、ご講師の先生のご法話を聞きます。仏法を聞かせていただくので「法座（ほうざ）」と言います。各法座では異なる先生が来てくださるので、お話しにも個性があり様々な視点からの仏教のお話し、仏さまのお話しを聞けます。堅苦しいものではなく、誰でも気兼ねなく聞ける和やかな雰囲気が進みますのでご安心ください。浄土真宗は、このご聴聞が特に大切とされ、本宗派の特色と言えます。常高寺では年間8回のご法座があり、基本、朝席・昼席・晩席の時間帯がありますので、ご都合の良い時にお参りください。（※状況に応じて日程、時間帯を変更する場合もあります）

またお彼岸や永代経（えいたいきょう）、お盆や報恩講（ほうおんこう）など、様々な種類のご法座があり、どの法座にお参りすれば良いのかよく分からないという方もいますが、ご縁は人それぞれです。仏さまのお話しを聞かせていただくという点ではどの座も等しい場所

です。特別に意識されなくても大丈夫です。服装は、普段の格好で結構です。門徒式章（輪袈裟）を持たれている方は、ぜひご着用ください。また、お念珠とお経本（お寺に貸出用の経本もあります）をお持ちください。

「ご懇志（お布施）を気にされる方もおられますが、ご持参いただける場合は、お気持ちでお願いします。

質問②

「永代供養はどうしたら出来ますか？」

答え

「永代供養」という言葉には「永代に亘り供養すること」「遺族の代わりにお寺が供養すること」といった意味合いが含まれていると思います。結論から言うと、この様な意味合いでの、いわゆる追善供養（ついぜんくよう）のお勤めは浄土真宗にはありません。ご門徒の方にこの件を相談される場合、殆どは次の2つの内容に分かれます。

①お墓を管理する者が自分の代で途絶えそうなので、どうしたら良いのかという相談

②ご法事を続けていく事が難しくなったので、自分の代わりに永代に供養（お勤め）をしてほしいという相談

①の相談はお骨の管理が問題の焦点となります。現状常高寺には墓地の空きがなく、納骨堂も土地の問題、また市の方針上の問題で建設の目処が立っておりません。そのため西本願寺の系列墓所である京都の大谷本願（おおたにほんびよう）

の納骨堂を紹介しております。分骨にするか全てのお骨を納めるかで申請方法も異なりますので、ご利用の際は当寺までご連絡ください。

②の相談が多くの方々がいメージする「永代供養」だと思のですが、先に申しました様に浄土真宗にはこの様な形のお勤めはありません。いやいや、年に二回春と秋に法座の案内があるじゃないかと言われるかもしれませんが、こちらには「永代経（永代読経）」と言ひ、み教え（お経）やお寺が永代に亘り存続しますようにという願いのもとお勤めされるご法要、またご懇志を指します。

この際、永代経懇志者に施主本人ではなく故人の名前や法名を記す事がありますが、これは「故人のために納める」のではなく、「永代にお寺やみ教えが伝わりますように」との遺志を受けた施主が故人になりかわりご懇志を納めた事を意味しています。故人への追善供養ではありませんのでご注意ください。故人を縁として私がみ教えに出会い、その法縁が未来の世代まで伝わるようにと願う。そうした思いが永代経の心だと思ひます。故人の命日ごとに僧侶が読経するなど共通する点もあるので誤解されるのも無理はないのですが、永代供養とは別のものです。あくまで浄土真宗のご法事は「遺族自身が」故人の遺徳を偲び、み教えに触れることが肝要ですので、遺族の代わりにお寺のものが法事をすることゝ先祖を粗末に扱ふということでは決してありませんのでご安心ください

行 事 報 告

しゅんきえいたいきぎょう
春季永代経法座 & 降誕会法座
ごうたんえ

「動画配信」しました

春季永代経法座 (4月)



太平寺住職 深水健司先生

降誕会法座 (5月)



万福寺副住職 浅野執持先生

今年予定していましたが、1月の御正忌報恩講(ごしよ)うきほうおんこう)と3月の春季彼岸会のご法座は、愛媛県内の感染状況を鑑み、参拝を中止としました。

4月の春季永代経、5月の降誕会のご法座も、一般の参拝は困難と判断。しかしながら、お勤めをしたい、ご法話を聞きたいという思いがたいお声もありました。そこではじめての試みでしたが、少しでもご門徒の皆さまとのご法縁を繋げればと思ひ、法要の様子を期間限定で動画配信しました。ささやかでも法要の空気を映像をとおして感じていただければとの試みでしたが、思いの外、視聴される方が多かったです。今後のご法座でも、状況次第ですが、検討したいと思ひます。

ど二からでも
お聴聞できるゾウ



門 徒 稿 投 稿

常高寺のひと

※ご門徒の方からの投稿コーナー。随時募集中です!



常信仏教婦人会(高井千穂子)

十年ほど前にパッチワークの会を作り、約六年間 尾鷹幸恵先生に教えていただきました。今年は「コロナ」で集まる事も出来ませんが、月一回第二木曜日に集まりお互いに作品を見せてもらったり教えてもらったり、又おしゃべりしたりと楽しくバックや小物を作っております。毎年の新年会の時「のみの市」で皆様に買っていただいたおりました。写真は以前作ったみんなの作品です。皆様一緒に作ってみませんか。お待ちしております。



常信仏教婦人会(黒川ヒサ子)

船乗りである夫の黒川勇二さん(二〇一一年ご往生)がブラジルから持ち帰ったお花十年前から年に一度だけ咲くそうです。とても鮮やか。南無阿弥陀仏

〈常信仏教婦人会とは〉
常高寺の女性門徒で構成される婦人会です。お気軽にご参加ください。

なんまんだ



おしらせ

今後の行事予定

【令和三年】

七月十二日(月)～十三日(火)

孟蘭盆会法座 福間義朝先生

九月七日(火)～八日(水)

秋季彼岸会法座 浄原法生先生

十月十一日(月)～十二日(火)

秋季永代経法座 藤本唯信先生

十一月予定

報恩講法座 当山住職

十二月三十一日(木)

除夜の鐘

※状況をみて、開催の可否に関しましては、都度ご連絡致します。



きくそう君
を探せ!
きくひと君

紙面のどこかに次のきくひと君ときくひと君がいるよ!



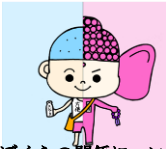
と、とぶゾウ!
(33秒が限界)



なんまんだぶ
だゾウ



ご迷惑をおかけ
しますだゾウ



ぼくらの関係について
はホームページを
参照だゾウ

おしらせ

・門徒会館の工事期間中は、常高寺山門向かいにある建物に待機しております。ご来寺の際は、まず電話にてご一報ください。



編集後記

諸行無常。解体工事も進み、お寺の外観も大きく様変わりしつつあります。慣れ親しんできたものが変化していく。なんともいえないもの悲しさを感じます。幼少の頃より、お寺にお参りくださっていた、ご門徒の皆さまにとってはなおさらかと。

お寺は「皆が集える場所」「仏の教えに出会える場所」「私へと繋がる場所」。理念はそのままだに、「変化」でも、皆さまが、よりお参りしやすい、よりお参りしたくなる環境へと変化していけるよう、工事を進めていきたいと考えております。

ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

常高寺住職 加藤大地